

七宗町 橋梁長寿命化修繕計画

1. 橋梁長寿命化修繕計画とは

橋梁は年とともに劣化や損傷が生じますが、それらが進行して大きな被害が発生しないよう、点検と修繕工事(再塗装やひび割れの補修など)を行う必要があります。

本計画は、通行の安全性を確保し効率的な維持管理ができるよう、点検や修繕工事などの予定を示した計画です。

詳しくは

→ [国土交通省ホームページ\(橋梁長寿命化修繕計画・策定補助について\)](http://www.mlit.go.jp/road/road/area_support/syuzen_hojo/index.htm)
http://www.mlit.go.jp/road/road/area_support/syuzen_hojo/index.htm ^

→ [国土交通省ホームページ\(道路橋の予防保全に向けた有識者会議\)](http://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/maintenance/index.html)
<http://www.mlit.go.jp/road/ir/ir-council/maintenance/index.html> ^

2. 七宗町の橋梁の概況

七宗町は約9割が山林で占められ、平地は町内を流れる飛騨川・神湊川及びこれらの支流沿いに点在しています。管理する橋梁は全部で164橋、うち、1級町道、2級町道及びその他の道路の中で重要な路線は46橋あります。大河川に架かる橋も、数橋あり、中小規模の橋梁が多数あります。どの橋も地域間を結ぶ重要な橋であり、現在、50年以上経過したものは数橋ですが、今後、劣化への対応が必要となっています。



室兼橋



細尾橋



餅屋橋



下市場橋

3. 計画

長寿命化修繕計画を行う橋梁数は46橋です。幹線道路上で、1級町道、2級町道及びその他の町道から橋梁を選定して点検を行い、その結果に基づいて修繕の計画を立てました。

今後10年間に補修を必要とする橋梁は以下のとおり。

橋梁名	橋長m	竣工年	年数	修繕箇所
新田第3橋	18.4	1977	32	鋼桁、支承
深瀬橋	11.4	1979	30	鋼桁、支承
第2号橋	22.9	1973	36	鋼桁、下部工、支承
第1号橋	27.9	1973	36	鋼桁、支承
葛屋第1橋	19.9	1976	33	鋼桁、支承
葛屋第2橋	22.9	1975	34	鋼桁、支承
葛屋第3橋	25.0	1975	34	鋼桁、支承、伸縮装置
細尾橋	20.4	1969	40	鋼桁、支承
細尾谷橋	15.4	1969	40	鋼桁、支承
報国橋	54.5	1963	46	鋼桁、支承
寺洞橋	13.5	1974	35	鋼桁、下部工、支承
上麻生跨線道路橋	98.5	1980	29	鋼桁
渡合橋	41.6	1972	37	鋼桁、RC床版、下部工、支承、伸縮装置
勝谷橋	21.4	1972	37	鋼桁、支承
大柿橋	83.9	1965	44	鋼桁
有明橋	21.2	1952	57	伸縮装置
下川橋	19.0	1970	39	鋼桁、支承、伸縮装置
大穴橋	35.1	1964	45	PC上部工、伸縮装置、防護柵
戸尻橋	29.6	1970	39	鋼桁
小穴橋	26.0	1964	45	伸縮装置、防護柵
長谷橋	27.1	1968	41	鋼桁、伸縮装置
下市場橋	16.8	1965	44	PC上部工、下部工、伸縮装置
室兼橋	17.0	1955	54	RC上部工、下部工、伸縮装置、防護柵
小野橋	42.8	1979	30	鋼桁
追洞橋	28.1	1966	43	PC上部工
新石作橋	16.9	1979	30	鋼桁、支承
飯高橋	38.9	1971	38	鋼桁、伸縮装置、防護柵
餅屋橋	15.0	1970	39	鋼桁、下部工、支承、伸縮装置
第1勝川橋	38.8	1971	38	鋼桁、支承
中電導水路横断橋	16.0	1971	38	鋼桁、支承、伸縮装置
勝谷西平橋	15.0	1971	38	鋼桁、RC床版、支承
飛山橋	82.8	1975	34	鋼桁、支承
上山橋	25.7	1976	33	PC上部工、伸縮装置、防護柵

※ この計画は、実施済みの点検結果などを基に策定しており、今後実施する点検の結果や、災害対応等の要因により変更となる場合があります。

※ 上記は平成22年度に計画を策定した46橋に関する分(10年分)であり、上記以外の橋でも修繕工事を行う場合があります。また、橋梁点検も順次実施します。